

優しい暮らし

丁寧に暮らす。暮らしを楽しむ。

yukobo letter

優建築工房便り

No.24

2019年4月号

【発行元】

株式会社優建築工房

〒243-0815

神奈川県厚木市妻田西1-20-8

TEL046-294-4500 FAX.046-294-4561

Life Space Design
優建築工房

ゆうけんちくこうぼう

人に優しく、環境に優しく、優れた技術

優建築工房

検索

コチラから
バックナンバーが
閲覧できます



T様ご夫妻と設計＆コーディネーターの安藤

「玄関を入ってすぐ、以前との空気の違いを感じます。間取りはそのままでも建具を内壁収納や格子にするだけで圧迫感がなくなり、明るく広々とした和モダンな雰囲気に変わりました。来客があると丁寧みたいだ。なんて言われます」とT様。

悩みは120%改善

寒さに耐え兼ね、温度の急変も危険なので、お風呂と洗面は数年前にリフォームしました。しかし冬場の寒さと湿気によるカビに悩み、1階のリフォームを決断しました。何度も打合せに通い、耐震、断熱、素材についても良く話を聞き、吟味しました。僕らの理想と優さんのテイスト、アドバイスがピタリと合致しイメージ通りの完成です。悩みは120%改善され快適です。



優建築工房
お宅訪問

一言芳恩

一言芳恩（いちさんほうおん）：あの時、ひとこと声をかけていただいた感謝を忘れずに・・・

【家】鎌倉市T様邸 新築から18年鎌倉の風土と立地を考えたリフォーム
寒さと湿気対策：風の通りと限られた空間を伸びやかに活かすデザイン

寒さと湿気に悩まされていたT様。弊社でリフォームしたお姉様宅を奥様が訪れた際に、ご興味を抱いて頂いたのがお付き合いの始まり。閉鎖的な和室を開放的にして風の通りに利用した環境配慮型設計。間取りを変更せず、視覚的に明るく広々とした空間にリフォームしたお宅です。お引渡しから約1年半経過したT様邸を訪ねて参りました。



間取り変更なし。押入れを撤去し玄関を拡張。壁に欄間と開口を設け、和室を風の通り道として計画。

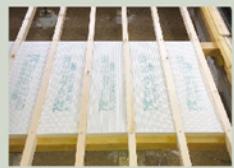


寒さと湿気対策 ~和室を開放的に利用した環境配慮型設計~

通風、断熱材・窓交換を行い、調湿効果に優れた素材の選択で寒さと湿気を解消する計画。断熱材は床天井裏を交換。それに伴い外壁解体箇所は、窓の開口デザインも変更、解体がない箇所はカバー工法交換を行いました。下がり壁を撤去し、リビングを閉め切っても視覚的に空間が広がるように天井までの建具を造りました。壁材は薩摩中霧島壁や珪藻土で優れた調湿効果を期待しました。

効果的な断熱・調湿工事

土間打ちのない直土でしたので、既存床下換気扇を撤去、シートを敷き、珪藻土を碎いた調湿材を敷き、断熱材を設置し、空気が動かない環境を作りました。階段周りの外壁解体を行わない計画でしたので、断熱効果が下がるのを防ぐため、トイレ内壁へ断熱材を設置しました。



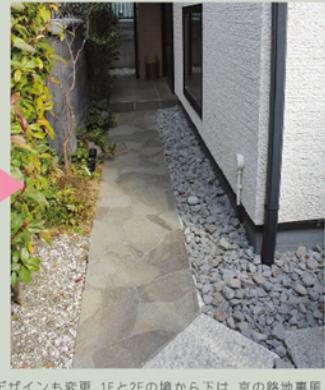
調湿材と断熱材を設置



風通しで欄間とガラス格子の開口を設置



断熱材入替のため外壁解体をした箇所はサッシもデザインも変更。1Fと2Fの境から下は、京の路地裏風な外構の雰囲気に合う「そとん壁」を塗装し、趣きを向上しました。



優建築工房の 環境配慮型設計

小さなエコノミーから
大きなエコロジーへ

優建築工房が使用する材料のお話

～人や環境への負荷が少ない安心して使える素材～

珪藻土とは、植物性プランクトン(珪藻)が長年にわたり海底や湖底に堆積して化石化したもので、古くから世界各地で採掘されて暮らしの中で利用してきた自然素材です。内装材として使用すると、その風合いが美しいだけでなく調湿や脱臭などの優れた機能を発揮します。優建築工房では、この珪藻土を素材(産地)や原材料、製造方法にまでこだわって、協力業者と提携してオリジナル珪藻土をつくり、使用しています。今回は、このオリジナル珪藻土についてご説明いたします。

素材(産地)

珪藻土は、土の粒子に無数の細孔をもつ超多孔質です。この細孔が調湿機能の源ですが、実は産地などにより細孔の大きさが異なります。細孔の大きさが直径50ナノメートル以上のものが一般的な珪藻土ですが、細孔が大きすぎて吸湿性能があまりありません。逆に、備長炭などの細孔の直径が2ナノメートル以下の場合は、吸湿や脱臭はしても、それを放出することはありません。直径2~50ナノメートルの細孔を持つ珪藻土のみが余分な湿気を吸い、乾燥すればそれを放出する調湿機能を持つのです。提携する協力業者が地質調査から採掘、製造まで一貫して行うことで、この性能を確実にするだけでなく、素材の産地まで確認できる安心・安全な珪藻土を使用することが出来るのです。



稚内地方採取地



床下調湿材



孔質の「孔」の意味は穴という意味で、多くの穴があいている物質のことを指します。

今回のお宅訪問のお施主様
が効果を実感されていて嬉しいです。
断熱・調湿はピンポイントで
替えて効果を最大限に
発揮できず、相乗的な条件
が揃って発揮できるもので
すから。



原材料

素材として魅力的な珪藻土も、それだけでは固まらないので、そのまま内装材としては使用できません。現在、様々な珪藻土建材が流通していますが、実は内装材とするために樹脂などがたくさん添加されたものが多く見られます。優建築工房のオリジナル珪藻土は、産地を厳選した「珪藻土」、「白土」、ひび割れなどを防止するための「植物性繊維」、固化補助のための「食品のり」の4つの自然素材だけで出来ています。



4つの自然素材

経験と熟練の技

自然素材である珪藻土は、決して万能ではありません。適材適所に正しく使用しなければ、逆に吸湿性能の高さゆえにカビが発生したり、溶けてしまうこともあります(樹脂等が添加されていませんので、多量の水分に触ると固化前の状態に戻ります)。採用には、経験に基づく設計と素材を扱う熟練の技が不可欠です。



雅屋さん施工中

雅屋さんの詳しいことは季刊誌No.18掲載



リビングの視線を妨げる下がり壁を撤去し、引き戸を天井までの高さのガラス格子の引込み戸にすることで、戸が内壁に入り、空間を有効に使えるように。部屋を閉め切っても、ガラス格子の建具は視覚的に奥行きがあるので圧迫感を感じさせません。

暮らしてみて

膝が悪いので、二段階の土間のデザインは丁度良い高さで昇降が楽になり、デザインも気に入っています。土間のタイル

は汚れが付かず速乾性があり、お掃除も断然楽になりました。暮らし始めて、1階と2階の心地よさの違いには驚きました。リビングでくつろいでいるとブラインドや格子から洩れる光の加減が美しく、見ていて穏やかな気分になり、とても素敵な時間を過ごせています。イメージ通りの出来上がりで、アドバイス通り適材適所にコストをかけた甲斐がありました。



こんな家づくりの方法もあったんだ



自然素材の心地の良さ

壁は薩摩中霧島壁と珪藻土、床は無垢オーク材を使用しました。薩摩中霧島壁は、優さんのトイレの壁材が気に入り、調湿効果も優れていると伺い、和室に採用しました。無垢や造作の善し悪しも伺いましたが現在、造作建具に歪みもなく、断熱と素材の相乗効果を感じます。和室正面の窓開口は小さくなりましたが、玄関との繋がりもあり、以前より奥行き感がでした。

ご主人こだわりのテレビ台



テレビ台はご主人直筆のデザインスケッチを元に、耐荷性などを考慮して造作しました。



建具は周りの雰囲気や照明にも違和感なく馴染みました

キッチン 思い出の棚は残して…

壁の格子棚は父が作ってくれた建具で思い出深く、大事に生かして欲しいとお願いしました。食洗機は収納が減ってしまうし、洗い物も少ないから入れませんでしが、娘に今時ないの?と言われて、収納は物を増やすなければ良い話で、少し後悔していましたが、後付けも出来ると安藤さんに聞いて安心しました。

工事中は仮住まいでの毎日、監督から届く進捗メールが楽しみでもあり、日々の報告で不安も解消でき、信頼が高まりました。この家も注文住宅でしたが、決まったプランより選択する方法でしたから、リフォームの打合せから工事の流れで、こんな自由な家づくりの方法もあったのかと思いました。また、浴室洗面はリフォーム済みなので、今回の改装内容に含まれませんでしたが、断熱改修はイニシャルコストはかかるものの、一度に行う方がより性能が向上するものとなり有利だと思いました。

のうこうこうじょう

能工巧匠

うちの腕利きの
職人さんを紹介



こしみず たくみ
大工 小清水工務店 小清水 巧さん

実際にお家を造り上げていく優建築工房の腕利きの職人さんをご紹介。
今回は、小清水工務店の小清水さんをご紹介いたします。



こまめに出たゴミや肩を掃除する小清水さん。

「現場の整理整頓をうるさく優で仕込まれて、その方が仕事がやりやすいって思ってからは、体が勝手に動くね」

今回は二代目お世話を担当する小清水工務店二代目小清水巧さんを訪ねて参りました。「父から引継ぎ、優さんで仕事を始め10年以上経ちました。稼業のわりに22歳から入ったので、職人としてはちょっと遅咲きです。二宮町の親方に付き6年程、勉強させてもらい父の元に入りました。優さんは凝った仕事が多いので、そこで学んだことが役立っていて、外に勉強に出て良かったと改めて思っています。レッカーフを使わず、人力での棟上や工期に追われる事は辛いですが、形が出来るとやっぱり美しいものです。」と小清水さん。「シャイでいつも面倒くさそうに振舞ってきますが、納まりの美しさ、特徴を考慮した上での素材の扱い方等、信頼の厚い職人さんです」と監督が言うと「まだまだ育ち盛りです」と、お茶面で何気ない優しさのあるうちの大変な職人さんです。

「網戸」は、現在の住宅の窓を構成する一部として不可欠な存在です。窓から害虫や粉塵を室内に入れないという大切な役目を担っています。古くは、日本には蚊帳という文化がありましたが、アルミサッシが普及し始めた昭和30年代から、現在のような窓の一部としての網戸も一般的になりました。今回は、近年の技術の進歩でとても性能が向上した網戸についてご説明いたします。

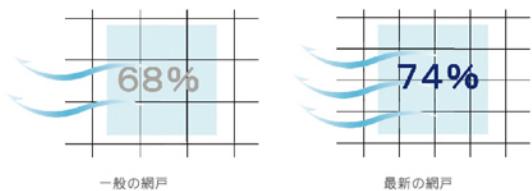
眺望性

網戸越しに見える外の景色が、以前に比べ格段にくっきりと見えるようになりました。



通風性

線径が細くなつたことで、網戸の開口率(単位面積あたりの網と開口の比率)が高まり、通風量が2割以上多くなつています。



高機能性

特殊なものでは、超高密度ネット(200メッシュ)で花粉や粉塵、雨も通さず、外からは室内がほとんど見えないが

中から外はよく見える、というネットもあります。

其粉面を拂ひの内はてて検討してみてはいかば可い。され



清掃性

網戸の糸と糸の交差部を融着させて
ほこりが隙間に入りにくい構造や、
ネット表面の凹凸を減らしてお手入
れしやすくするなどの進化も遂げて
います。



優café

優caféは、ご来訪いただくお客様へのお茶のご提供の総称です

理想のお家づくりのため、色々選ぶのは楽しいけれど、とっても疲れるものです。そんな時にカフェのドリンクとデザートでリフレッシュしていただけたら嬉しいです。ドリンクメニューも色々と揃えています。お替り自由ですのでお気軽にスタッフに注文ください。



PRESENT

ブリティッシュ風木製スツール3名様へプレゼント

アイリッシュBARのカウンターに置いてあるような重厚な雰囲気のプリティッシュな木製スツールです。

ラッカー塗装を全面に施してあります
が、とても良い木の質感です。



【プレゼント応募】

①お名前 ②〒とご住所 ③電話番号 ④ご感想やご要望(必須)
以上をご記入の上、メール・ハガキ・FAX・TELにてご応募ください。
応募〆切 5/8(水) ご当選者へ発送をもってお知らせ致します。

メール nakamura@yukobo.jp メールの件名に「プレゼント応募」とご記入ください
あて先 **ハガキ** 〒243-0815 厚木市妻田西 1-20-8 優建築工房
yukoboletter プレゼント係
F A X 046-294-4561 **T E L** ☎ 0120-873-312